

神尾勇治コレクション

仙厓と鍋島

—美と向き合う、美を愉しむ—



平成26年10月4日(土)→12月14日(日)

Information

主催●
細見美術館 読売新聞社

後援●
読売テレビ

協力●
株式会社アーテファクトリー

入館料●
一般 1100円(1000円)
学生 800円(700円)
※()内は20名様以上の団体料金

休館日●
毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間●
午前10時～午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

会場●
細見美術館
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
tel.075-752-5555

今秋、細見美術館では40年にわたって古美術品を蒐集されている神尾勇治氏のコレクションより、画僧 仙厓の書画と、磁器 鍋島の名品を紹介します。

臨濟宗古月派の僧 仙厓義梵(1750～1837)は、博多・聖福寺の住持を20年勤め、洒脱で飄逸な禅画を多く遺しています。職業絵師とはちがった面白さ溢れる作品は、その魅力故に多くの人々に愛されています。

一方、鍋島は佐賀・鍋島藩の藩窯で、藩主の所用品や贈答用に製造されてきました。洗練・精巧をきわめた華麗な作風は、現代にも伝承されています。

奇しくも、ともに九州という土地で育まれた絵画と陶磁器。コレクターの目を鍛え続けてきた、美の緊張感と面白さ。個性豊かな作品の数々をお愉しみください。